

第4学年 道 徳

児童の実態に応じた学習になるため指導する学期は定めていません。

以下の項目について学習します。

1. 主として自分自身に関すること

- (1) 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をする。
- (2) よく考えて行動し、過ちは素直に改める。
- (3) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
- (4) 正しいと思うことは、勇気をもって行う。
- (5) 正直に、明るい心で元気よく生活する。

2. 主として他の人とのかかわりに関すること

- (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。
- (2) 相手のことを思いやり、親切にする。
- (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- (4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。

3. 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

- (1) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
- (2) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。
- (3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

4. 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。
- (2) 働くことの大切さを知り、進んで働く。
- (3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる
- (4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。
- (5) 郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心をもつ。
- (6) 我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。